

令和3年度の「ジュニアリーダークラブ活動記録」を紹介します

令和3年度は、新型コロナウイルスの影響で開催できる定例会も限られたため、ホーム研修も行い、資質向上に努めました。2月にはジュニアリーダーとしての自覚のもと、一年間の取組を「活動記録」に足跡として残しました。一部を紹介します。(提出された「活動記録」の一部を抜粋させていただきました)

新たな思いを胸に、ジュニアリーダーとしての一歩を踏み出しましょう。



1ブロック



全ブロックで開催する「チャレンジ研修」
キャンプファイヤーの様子



5ブロック



2ブロック

各ブロックで開催する定例会



3ブロック



4ブロック

ジュニアリーダーの魅力

- 7月にあった東海北陸地区ジュニアリーダー研修会では、色々な地区の先輩方と関わり、依頼に行った時の体験や地域ごとのローカルな遊びなど、普段は聞くことのできないような話を聞くことができました。また、毎月の定例会でも、たくさんのことを学びました。12月にあった地域のクリスマス会では、レクリエーションゲームをやって、自分の短所と長所を知ることができました。 【中学生】
- 自分は、中学校で一人のジュニアリーダーであり、ジュニアリーダーに少しでも興味をもってもらうために、放送で紹介するなど、ジュニアリーダーをPRする独自活動を行うこともしました。来年は、他のボランティア(SMC・CVS)などを活かしつつ、依頼に備えていきます。依頼があったからには、参加してくれた全員に楽しかったといってもらえるように工夫したいです。 【中学生】
- 今年度、初めてジュニアリーダーを始めました。インリーダーと違って、他の学校や広い学年が集まる定例会はとても緊張しました。だけど、ゲームで同じチームになった人や近くの人が話しかけてくれるのが、とてもうれしかったです。学校とは違う楽しさがありました。私のジュニアリーダーのイメージは、インリーダーの行事で、ゲームやバルーンをやって、小さい子と遊んでいる姿です。私もいつかそれができるように、先輩たちから吸収して、もっと成長していきたいです。 【中学生】

ジュニアリーダーとして成長

■3年間ジュニアリーダーとして活動できて、本当によかったです。関わることのない人とたくさん話したり、活動したりは、大切な財産だと思います。また、自分が成長していると気づいたのは、2年目になった時でした。今までリードできなかった自分が、自分から話しリードできたこと。仲間のよい姿を理解できました。3年目は、他者のよさだけでなく、自分のよさを活かし成長できました。定例会で活動する場面もたくさんあり、たくさんの学びと楽しみを覚えました。もっと成長するためにも高校に入っても続けたいです。

【中学生】

■1年間ジュニアリーダーをやってきて成長したことは、他の子と関わり合うことと、学んだことを生活に活かすということです。来年は、さらに求めるために、またジュニアリーダーとして活動したいと思っています。

【中学生】

■私にとっては、5年前と比べて成長した自分を実感することができた1年間でした。ジュニアリーダー活動に参加したての頃は、自分の意見をなかなか言うことができず、縮こまってばかりいました。しかし、今年度の活動を振り返ってみると、色々な意見を自由に出し合っ、自発的に行動できていたように思えます。来年度は、活動の集大成となるよう、自分から積極的に行動したいと思います。

【高校生】

これからの自分への期待

■自分ができる最低限のこととして、定例会にできるだけ多く参加した。そして「優良年少指導者」として表彰されたのだ。その表彰状は、自分の部屋にしっかりと飾ってある。そうすることによって、これからも「ジュニアリーダー（子どもの代表者）」として、多くの子どもを楽しませようという決意の表れになるからだ。

【中学生】

■ジュニアリーダーを通して見つけた変わった自分と足りない自分。これからジュニアリーダーとして活動できる残り2年間をフル活用して、足りないところは補って、変わった部分はさらに伸ばして、新たな自分を見つけていきたいです。

【高校生】



4月2日(土)「道三まつり」みこし参加



3年ぶりに開催された「道三まつり」で、岐阜市シニアリーダークラブがみこしを作って参加しました。きれいに飾り付けられたみこしには、子どもたち

への熱い想いがこめられていました。高校生ジュニアリーダーが、ボランティアで参加をしました。犬や剣、ハートのバルーンを沿道の子どもたちにプレゼントしながら、シニアリーダークラブをアピールしました。バルーンアートとやさしい声かけで子どもたちを笑顔にするリーダーたちの頼もしい姿でした。